

2022

令和 4 年



③ 本庄七夕まつり



④ ほんじょう産業フェスタ

2023

令和 5 年



⑤ 児玉高等学校開校式・入学式
(提供：県立児玉高等学校)



⑥ 本庄駅開業 140 周年記念式典

月日	できごと	出典
1.12	岡山県総社市と「災害時相互応援に関する協定」を締結する	2022 年 2 月 1 日号 17P
1.30	市長選挙及び市議会議員選挙が行われ、市長に吉田信解氏が当選、市議会議員は 21 人が当選する	2022 年 3 月 1 日号 3P
3.17	新型コロナウイルス感染症による市民活動への影響などを受け、本庄市移動販売支援事業を活用した移動販売車の運行が開始される	2022 年 4 月 1 日号 1P
4.1	パートナーシップ宣誓制度の自治体間連携に関する協定を見玉郡内の美里町・神川町・上里町と締結する	2022 年 4 月 1 日号 7P
4.1	ゴールボール日本女子チームの公式練習・強化試合「塙保己一メモリアル ゴールボールフェス」がカミケンシルクドームで開催される	2022 年 3 月 15 日号 4P
6.2	降ひょうによる被害が市内で発生し、農業に甚大な被害が出る。市でも対応・支援を行い、クラウドファンディング型の寄付も行われる	2022 年 6 月 15 日号 1P、 2022 年 8 月 15 日号 6P、 2022 年 9 月 15 日号 4P
7.1	証明書などの交付窓口でキャッシュレス決済を導入する	2022 年 7 月 1 日号 13P
8.7	本庄七夕まつりを約 30 年ぶりに本格開催する	2022 年 9 月 1 日号 2P
9	証明書等をオンラインで申請、電子決済サービスで手数料支払いができる「本庄市オンライン窓口」を開設する	2022 年 9 月 1 日号 17P
11.19	本庄総合公園でほんじょう産業フェスタを開催する	2022 年 11 月 1 日号 6・7P、 2023 年 1 月 1 日号 2P
12.3	国道 17 号本庄道路で新たな神流川橋が開通する	2023 年 1 月 1 日号 19P

月日	できごと	出典
	2023 年～2024 年にかけて多くの市立小学校が創立 150 周年を迎え、記念式典を実施する	2023 年 12 月 1 日号 2P
2	同月発生のトルコ大地震発生に対し、市内外から合計で約 750 万円の寄附を受け、同国を支援する	埼玉新聞 「令和 5 年首長が選んだ わが街 5 大ニュース」
3	官民協働事業により『「わたし」の整理帳』（エンディングノート）を作成する	2023 年 3 月 15 日号 1P
4.1	児玉白楊高等学校と児玉高等学校が統合し、新たな児玉高等学校となる	2023 年 4 月 1 日号 18P
6	本庄市シティプロモーション推進事業を始める	2023 年 11 月 1 日号 12・13P
7.4 ～11.12	企画展「エジプト文化展—早大隊の調査から辿る—」を本庄早稲田の杜ミュージアムで開催する	2023 年 7 月 1 日号 18P、 2023 年 8 月 1 日号 2P
7.15 ～9.24	盾持人物埴輪を含めた文化財 3 点が東北歴史博物館夏季特別展に出品される	2023 年 7 月 1 日号 18P
10.21	本庄駅開業 140 周年の記念式典とイベントが行われる	2023 年 10 月 1 日号 18P、 2023 年 12 月 1 日号 2P
11.12	本庄早稲田駅が開業 20 周年を迎え、記念イベント「ほわフェスタ 2023 ～20th Anniversary～」を開催する	2023 年 11 月 1 日号 27P
12.16・17	「本庄クリスマスマーケット 2023」が本庄早稲田の杜中央通り線沿いで開催される	2023 年 12 月 1 日号 36P、 2024 年 1 月 1 日号 2P

月日	できごと	出典
	学校施設の統合を含む公共施設再配置方針を作成。小中学校の適正規模・適正配置を推進していく	埼玉新聞 「令和 6 年首長が選んだ わが街 5 大ニュース」
2.10	本庄産「あまりん」を PR するプレミアムストロベリーマーケットを開催する	2024 年 2 月 1 日号 7P、 2024 年 3 月 1 日号 2P
4	本庄市広報観光大使に新たに新井大輝さん、アンゴラ村長さん、岩田朋之さん、小久保寛太さん、ビクター・タンさんが就任する	2024 年 6 月 1 日号 1・4・5P
4.18	「塙保己一の奉納刀」を市指定文化財に指定する	2024 年 6 月 1 日号 14P
5.1	日本薬科大学と「包括連携に関する協定」を締結する	2024 年 5 月 1 日号 20P
7.19	本庄市ブランドメッセージが「どこにでも行けるけど、ここにいたい。本庄」に決定する。同年 12 月にロゴマークが決定、発表される	2024 年 8 月 1 日号 20P、 2024 年 9 月 1 日号 9P、 2024 年 12 月 1 日号 1・4～7P ③
8.31	本庄市・深谷市・伊勢崎市 3 市連携利根川花火大会が実施される	2024 年 10 月 1 日号 44P ⑧
10.1	本庄市広報観光大使に新たに佐々木琴子さん、杉原凜さん、森本真敏さんが就任する	2024 年 11 月 1 日号 12～13P
10.16 ～12.8	盾持人物埴輪が東京国立博物館『挂甲の武人 国宝指定 50 周年特別展「はにわ」』に展示される。その後、九州国立博物館に巡回となる（令和 7 年 1.21～5.11）	2024 年 8 月 1 日号 32P
12	埼玉県指定史跡雉岡城跡の発掘調査が始まる	2025 年 2 月 1 日号 14P

月日	できごと	出典
2.7	岐阜県美濃加茂市と「災害時相互応援に関する協定」を締結する	2025 年 3 月 1 日号 9P
2.13	台湾・台南市と「本庄市と台南市との友好交流協定」を締結する	2025 年 3 月 1 日号 1・4～7P ⑨
3	「本庄市公共施設等総合管理計画（ハコモノ編）」を策定する	2025 年 7 月 1 日号 15P
3.30	旧児玉町合併 35 周年を記念し埋設されたタイムカプセル「こだまみらい 2025」の開封式がこだま千本桜まつり会場で行われる	2025 年 5 月 1 日号 2P
4.18	「本庄市シティプロモーション事業」が令和 7 年全国広報コンクール「内閣総理大臣賞（総合 1 位）」を受賞する	2025 年 6 月 1 日号 10～11P
6	若泉運動公園にゆうぱーく（芝生広場）が完成する	2025 年 6 月 1 日号 1・36P
6.19	市制施行 20 周年記念 NHK「新・BS 日本のうた」公開収録がグローバルソフトウェア本庄文化ホールで行われる	2025 年 8 月 1 日号 2P

時代の証言者

「農業と自然災害」

農業は自然の恵みを受ける一方で、しばしば災害に翻弄される。その厳しさを幾度となく経験してきた五十嵐さんに、この 20 年間を振り返っていただいた。

平成 26 年の記録的大雪のとき、五十嵐さんは雪害対策室の室長に任命され被災農家を支えたが、自らも被害を負った農家の一人だ。「何から手をつければいいのか」一雪に押し潰されたビニールハウスの骨組みを前に、呆然と立ち尽くしたと振り返る。それでも被害状況の確認、ハウスの撤去、そして再建、長い道のりを歩み始めるしかなかった。雪害対策室では、夜遅くまで被災農家への支援の日々が続いた。令和 4 年 6 月 2 日の夕方、空からゴルフボール大の雹が降り注いだ。収穫を目前に控えたトウモロコシや、傷つきやすいナスが真っ先に頭をよぎったという。短時間ではあったが被害は甚大で、ハウスを突き破った氷塊は、野菜だけでなく、花や稲苗までも傷つけた。猛暑、台風、長雨—自然の脅威は絶え間なく押し寄せる。立場が変わり、五十嵐さんが圃場に出向く機会は少なくなったが、その目は常に地域の農家へと向けられている。

2024

令和 6 年



⑦ 本庄市ブランドメッセージ・ロゴマーク



⑧ 本庄市・深谷市・伊勢崎市
3 市連携利根川花火大会

2025

令和 7 年



⑨ 台湾・台南市と「友好交流協定」締結



五十嵐 雅樹さん
(埼玉ひびきの農業協同組合
代表理事組合長)